

「深」知識や見識が深いことを「深識」といいます。深く考え思い巡らすことを「深慮」といいます。心を許し合うことを「深交」といいます。深く学び、深く考え、深く語り合うことがあなた自身の「深化」につながっていく。福岡大学学園通信より

週刊ポスト  
2012年11月23日号  
【ドキュメント徳之島】  
徳之島の闘牛  
文■藤野真功  
撮影■横田 徹  
協力■徳之島観光大使 重田光康



GQ JAPAN 2013年1月号  
鹿児島県・徳之島の闘牛に魅せられて  
『鈍くとも確かな決闘』  
文■藤野真功

**なくさみ**  
徳之島闘牛の歴史は、詳細には明らかにされていない。文献の上では、吉満義志信が著した『徳之島事情』(1895年)の「闘牛の図」がもっとも古いとされているが、便宜上しばしば引き合いに出されるのはシマ唄の「前原口説」である。  
たしかに、物語になる唄なのだ。圧政に虐げられていた島の者が闘牛の闘いをもって、薩摩の役人に勝利する。江戸時代、とくに苛烈な藩政が敷かれたといわれる薩摩藩下において、例外的な大田布一揆を起した島民の気性を見事に表しているようにも思われる。しかし、徳之島町文化財保護審議会委員の遠藤智は冷静だった。  
「薩摩を破る内容の唄ですから、本当に江戸時代の唄かどうかは、考証の必要があるかもしれません」  
世の中には、黙っておりさえすれば「通りのよい物語」に落ち着く事柄も多い。黙っておりさえすれば、迎え入れる島人も気分よく、世話になる本州人も楽しい、キビ煙を仰ぎ見て、黒糖焼酎を啜るのもいいだろう。手舞足踏もよし、シマ唄に聴き入るもよし。明らかに、それは素晴らしいことだ。  
だが一方、素晴らしいとは、それだけでもない。「まっすぐな物語の通りのよし」ではなく、「裏に隠された悲しみの歴史」でもなく、もっと強烈に自己中心的で、強さと意地を肯定し、腰抜けには何も与えないもの。その上さらに狡猾さまで備えるもの。  
ケンカ牛でなくても、そもそも牛は闘う。草食動物も侮れないのだ。鹿撃ち猟師は、雄の鳴き声を真似た笛を吹き、発情期の標的をおびき寄せるが、現れるのは鹿ではなく、同じ雄である。かれは縄張りを侵した余所者と格闘し、領土を守る。牛も同じだ。  
僕は、ベトナムの祭りで農耕用の牛を闘わせる光景を見たが、他にも韓国やロシアなど世界各地に闘牛文化は存在している。かつて徳之島では、闘牛を「なくさみ(慰

み)」と呼んでいた。ベトナムの農村と同じように、日常の退屈をまぎらわす祭事の一環だったのだろう。  
だが次第に「なくさみ」は先鋭化し、農耕用の牛ではなく、闘うための牛を育てるようになる。第2次大戦時は中止されたものの、米軍統治下の昭和23(1948)年には徳之島闘牛組合が結成され、入場料の徴収や審判制度といった現在の闘牛の基礎が制定され、集落祭事の一環とは違う道を歩み始めた。続いて昭和42(1967)年、天城町、徳之島町、伊仙町の3町の闘牛協会が持ち回りで開催し、各闘牛協会に属する横綱牛の中から最強のケンカ牛を決める「全島一闘牛大会」が行われることとなったのだ。  
現在の徳之島闘牛は、体重別に4つの階級が設けられている。780kg以下が「ミニ軽量級」、次に850kg以下の「軽量級」、950kg以下の「中量級」、そして1トンを超える体重無制限のクラスには階級名さえ付いていない。横綱に「全島一」の名称が冠されるこの階級こそが、まことの徳之島闘牛である。  
勝負のルールは単純明快。直径20メートル前後の闘牛場で2頭の牛の頭をつけ、闘いを始めたら「勢子」が鼻綱を握って切る。勢子とはかけ声で元気づけたり、体を叩いて攻めに転ずる瞬間を教える、ボクシングのセコンドのような牛の操り手である。2頭のケンカ牛は角突き合わせ、押し合い、片方が逃げたら勝負ありだ。早ければ数秒で決着するし、実力拮抗なら30分でも終わらない。各々の階級には上から「横綱」「大関」「関脇」「若手花形」といった審判が設けられている。最大規模の「全島大会」が正月、5月、10月の年3回6場所開かれるほか、島内7カ所の闘牛場を使って、小さな規模の大会も開かれる。  
なにより僕が感心したのは、闘牛の運営がすべて民間で行われているという事実だった。闘牛場の中には、町営と名のつく施設もあるが、これは個人が造成したのちに寄付しただけで、なにがしかの税金が投入されたわけではない。

Happy Wedding  
末永くお幸せに!  
  
(旧姓川元)  
宮上将也さん・美穂さん

山川義塾 2013年1月18日(金)  
センター試験突破 激励会  
  
盛孝光会長から同志会のみんなに知らせたい  
「深い言葉」  
信念は人を強くする。疑いは活力を麻痺させる。  
信念は力である。フレデリック・ロバートソン(イギリスのプロテスタント牧師)  
信じること、自分の夢、目標を見据え、必ずそれを実現するということを、疑わない人は強い。信念、目標の達成を疑うことは、自分の力を低下させることになるでしょう。

新撰組同志会  
SHINSENGUMI DOSHIKAI NEWS No.19  
新撰組同志会 第19号  
2013年2月7日発行  
会長 盛 孝光  
顧問 緑 健児  
実行委員長 満 留 直行  
事務局長 宮上 郁代  
LA新撰組局長 重田 光康  
〒101-0062  
東京都千代田区神田駿河台3-7  
百瀬ビル1F  
TEL.03-5283-1550 FAX.03-6912-2183

敢為邁往  
か い まい おう  
村田諒太選手の座右の銘 目的に向かって困難をものともせず、自ら思い切って、まっすぐに進んで行くこと。  
  
男子ミドル級 金メダル 村田諒太  
男子フライ級 須佐勝明  
男子バンタム級 銅メダル 清水聡  
男子ウェルター級 鈴木康弘

LONDON OLYMPIC BOXING MIDDLE WEIGHT  
GOLD MEDAL RYOTA MURATA